

◆経済倶楽部講演会第4190回（2月3日）

アジア平和貢献センター共催シンポジウム ヨーロッパはどこへ行く

〈問題提起〉

ヨーロッパの将来を
三つの側面から探求

早稲田大学政治経済学術院教授

早稲田大学政治経済学術院教授
早稲田大学政治経済学術院教授
早稲田大学政治経済学術院教授

早稲田大学政治経済学術院教授
早稲田大学政治経済学術院教授
早稲田大学政治経済学術院教授



基調報告2

英国のEU離脱とEU
の将来

—経済を中心に—

東北大学名誉教授

田中素香



基調報告1

ヨーロッパ統合が目指
してきたもの

—歴史からの再検討—

フエリス女学院大学教授

上原良子



基調報告3

英国EU離脱決定後の
欧州政治とEU統合の
行方

早稲田大学政治経済学術院教授

福田耕治



西原 春夫

柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
本日はすっかり恒例になりましたが、2月の第1週ということでアジア平和貢献センターとの共催でシンポジウムを開かせていただきます。今年のテーマは「ヨーロッパはどこへ行く」でございます。今日はヨーロッパ研究の第一線でご活躍中の先生方にお集まりいただきました。この会でも1月からトランプの話がずっと続いておりまして、ヨーロッパにもトランプの影響があるのかもしれませんが、一方でトランプが出現した背景というものとイギリスのEU離脱、そしてヨーロッパで今年起きるであろういろいろな変化については、関係していること、関係してないこと等いろいろあると思います。そうした意味でヨーロッパにおける新しい

動きというのは日本でも注目されております。今日はそういったことについて、過去からの歴史と将来を見据えてお話を伺えるかと思えます。それではアジア平和貢献センターの西原理事長からご挨拶をいただきます。（拍手）
西原 共催者の一つの柱でございますアジア平和貢献センターの理事長を仰せつかっております西原でございます。
年1回、伝統ある経済倶楽部との共催でシンポジウムを開催することになりました。今回で4回目となりました。前回は中東の問題をテーマにいたしました。今年はヨーロッパということで、考えてみますと、その年その年の重大問題をテーマにしてきたなという感じでございます。